

応急仮設木造住宅建設就労者登録票

項目	記載内容	記載例
氏名		県連太郎
フリガナ		ケンレンタロウ
大工の実務経験年数（年）		20
生年月日（西暦）		1974/4/1
年齢		49
自宅電話番号		076-000-0000
携帯電話番号		090-0000-0000
緊急連絡先（組合以外）		080-0000-0000
続柄		妻
メールアドレス（できれば携帯）		kenchiku-toyama@syd.odn.ne.jp
FAX番号		076-000-0000
郵便番号		9309-8251
自宅住所		富山市西荒屋25番地の4
CCUS登録		無
CCUS技能者ID		無
レベル判定		無
既往歴または現在治療中		高血圧 現在治療中
事前確認書の有無		有
血液型		A
過去に就労したことがある仮設現場名 ※複数ある場合は全て記入。【番号を記入】 東日本大震災＝①、熊本地震＝②、西日本豪雨（愛媛、広島、岡山＝③）、令和元年台風19号（長野）＝④、熊本豪雨＝⑤		②④
就労可能期間		3/4～3/11 4/8～4/14
車両番号		富400や12-34
貸金振込先		〇〇銀行〇〇支店普通000000 ケンレンタロウ 講座名義は個人名のみ 会社名は不可

応急仮設木造住宅建設における車中泊の申請書

誓約項目

- 私は、車中泊に対する知識や経験、装備を有しており、応急仮設木造住宅建設に就労するにあたり、車中泊を希望します。
- 車中泊による事故や健康リスクはすべて自己責任であることを理解しています。
- 主幹事工務店および全木協本部から車中泊の中止を指示された場合は、直ちにその指示に従います。
- 就労期間中に車中泊から通常宿泊に切り替える場合、または通常宿泊から車中泊に切り替える場合は、当該日から起算して2日前の正午までに現地事務局まで申し出ます。通常宿泊に切り替える場合、必ずしも希望どおりの宿泊施設に泊まれることが約束されないことを理解しています。
- 主幹事工務店および全木協が車中泊の中止を指示した場合は、それに従います。
- 車中泊の手当6,500円には朝食費用が含まれていることを理解しています。

上記報告に虚偽はありません。

車両情報（車種・車両ナンバー）

所属組合

名前